ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字:栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成19年 No.195 9月号

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

またしても大臣の不祥事が発覚
出鼻をくじかれた安倍改造内閣

二ノ湯参議院議員、総務大臣政務官に

7月の参議院選挙で、歴史的な敗北をした自民党。党内外から責任論が渦巻く中、早々と続投宣言をした安倍首相。低落する内閣支持率を回復し、内閣に対する求心力を高めるために8月27日に人心一新の内閣改造を断行した。閣僚の政治資金収支報告書の事務所費問題が、参院選の大きな敗因であったために、党本部では自民党の全国会議員に対して、過去数年間の収支報告書を提出させ、不正がないか調査した。中でも閣僚候補に対する首相官邸のいわゆる身体検査はかなり厳しく、副大臣、政務官候補に対しても綿密に実施された。それでも手抜かりがあったのか、遠藤農林水産大臣が組合長を務める農業共済組合が不正に国から補助金を受け取っていたことが判明、就任からわずか一週間で辞任した。同じく、外務政務官となった坂本由紀子参議院議員も収支報告書の虚偽記載の責任を取り、辞任した。改造後、支持率も上昇、安倍内閣も順調に再スタートするかに見えた矢先での農水大臣の不祥事は大変痛い。

安倍首相から政務官の任命書を受け取った後、首相官邸で記念撮影する政務官たち

恒心

★内閣改造のたび毎に悲喜交々の場面が繰り広げられる。今回、大臣待望組は自らの政治資金収支報告書の訂正を行い、身の潔白の証明に努めた。そして、組閣当日は自らの携帯電話を片時も離さず首相官邸からの連絡を待っていた。★そんな中、自他共に入閣間違いなしと思われた人が、選考から外れた。その人は、参議院で国対委員長を3年間も務め、小泉、安倍内閣で多くの重要法案の成立に縦横無尽の活躍をした矢野哲朗氏である。参院からの入閣候補者の筆頭に挙げられており、本人も入閣の心構えであった。周囲の人々も矢野氏の大臣での活躍に大いに期待を寄せていた。私も当然矢野氏が重要閣僚で活躍の場が与えられるものと確信していた。★組閣前日、数人の親しい議員と矢野氏、それに矢野氏の後援会役員らと勉強会、暑気払いのパーティーを持った。当日、講師として招かれた某テレビ局の政治部長も矢野氏の入閣は間違いなしと言っていた。懇親会では、明日の矢野先生の就任を祝って、乾杯、乾杯と酒を飲み、大いに気勢を上げた。★組閣の日、矢野氏の部屋には多くの報道陣、そして関係者が詰めかけていた。しかし、いつまで経っても官邸から呼び出しの電話がかからず、とうとう大臣の椅子が回って来なかった。前評判だけが高く、最後は目的が達せられなかった時、何故大臣になれなかったのだ、何か身辺にやましいことがあるのではないかといった風評が飛び交い、最悪の場合、政治家の政治生命を奪いかねない。安倍首相は矢野氏の抗議の電話に次回は必ず入閣を約束したと報道されているが、これもどこまで本当か。保証の限りではない。人事は密かに、素早く行うべきではないか。

二ノ湯議員、地方分権に決意新た

8月27日の内閣改造に伴い、副大臣、大臣政務官の人事も同時に実施され、二ノ湯智参議院議員は内閣より総務大臣政務官に任命された。任命式は8月30日午後、首相官邸で行われ、安倍首相から各政務官に任命書が授与された。その後、首相官邸で一同勢揃いして、安倍首相を交え記念写真を撮った。二ノ湯政務官は、岡本芳郎政務官（衆議院議員・四国比例区）、秋葉賢也政務官（衆議院議員・宮城２区）と共に多くの幹部職員の出迎えの中、総務省に初登庁し、増田総務大臣・佐藤勉副大臣（衆議院議員・栃木４区）、魚住裕一郎副大臣（参議院議員・全国比例）に就任挨拶をした。大臣・副大臣・政務官の6人で記念撮影をした後、政務官室にて新旧政務官の事務引継ぎが行われ、前任者の土屋正忠衆議院議員（東京比例）と引継書類に毛筆で署名した。そして、総務省地下講堂で行われた新旧副大臣・政務官の交代式に出席、挨拶に立った二ノ湯政務官は「私は参議院議員では珍しく政令都市出身の議員です。平成11～13年の間、全国市議会議長会会長として、地方議員の政務調査費の創設、議員共済年金制度の改革に取り組みました。皆さんの協力をいただきながら、更に一層地方発展のために取り組んでまいりたい」と決意表明をした。閉式後、政務官室でささやかな懇親会を開き、総務省幹部と懇談した。

政務官就任で慌しい一日

安倍首相は地方の格差問題に内閣を挙げてとり組む決意である。前岩手県知事の増田総務大臣を中心に地方分権改革に取り組む副大臣と政務官

武蔵野市長6期を務め、市長在任中に多くの業績を残した前任者の土屋正忠衆議院議員と引継ぎ後、固い握手をする。

副大臣・政務官の新旧交代式で総務省の幹部職員を前に地方分権に対する決意を述べる

二ノ湯議員、総務委員に

9月10日に召集された臨時国会での常任、特別委員会の委員長ポストの割当で自民、民主の両党間で話し合いが持たれていたが、七日の夜、自民、民主両党の間で決着した。各議員の所属も決まり、二ノ湯議員は常任では総務、国家基本政策、特別は政治倫理、選挙制度委員会への所属となった。二ノ議員は当選以来、一貫して総務委員である。

「競争から共生へ」

参議院議員　西田昌司

先の参議院選挙では、二之湯先生に大変お世話になり、ありがとうございました。また、先生におかれましては、安倍改造内閣で総務大臣政務官に就任されました。心より御礼と御祝を申し上げます。

さて、先の参院選大敗は、年金だけでなく格差問題が原因であるといわれています。実は、私自身このことを今回の参院選はもちろん、府議会の時代から一貫して訴えてきたのです。

バブル崩壊以来、日本人は自信を喪失し、日本的経営や社会の制度を棄て、グローバルスタンダードの掛声の下、何もかも競争で解決することを是とする社会を作り上げてしまいました。民間企業のみならず、行政においても地域間競争が叫ばれ、それが地方分権かのように言われてきました。その結果が今日の格差社会を生み出したのです。弱肉強食が格差社会をもたらすことは当初から予想されていたことですから、私は反対をしてきたのです。

また、競争社会は、移民の開拓により国造りをしてきたアメリカの価値観であり、日本人にはふさわしいものではありません。日本人は、競争より共生を好む民族なのです。こうしたことの矛盾を民主党に突かれ、自民党は大敗したのです。

自民党大敗は残念なことではありましたが、一方的な競争社会に歯止めをかけ、国民生活を守るためには、仕方のないことだったのかも知れません。これからの国会の中で、こうしたことを念頭にして議論に参画させて頂きたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

早くも政務官としてフル活動

総務省は総務庁・郵政省・自治省が統合した巨大官庁で、仕事も非常に多岐にわたっている。二ノ湯政務官の担当分野は地方行財政、消防庁である。就任早々から色々な行事に出席をして、挨拶をすることが多い。

防災功労者内閣総理大臣表彰 表彰式及び記念パーティ

職場、地域において防災思想の普及に努め、災害時の防災活動で、住民の避難誘導、人命救助に顕著な働きをした功績で内閣総理大臣表彰を受賞した方々の表彰式が、9月5日首相官邸で行われた。式の後、官邸ホールで懇親会が開かれ、二ノ湯政務官は受賞者に祝辞を述べた。

受賞者と増田総務大臣、二ノ湯政務官

地上デジタル放送総合対策本部発足 地上デジタル放送総合対策本部第一回会合

2011年7月の地上放送の完全デジタル放送化に向けて、国民全ての人々がどこに住んでいても、デジタルテレビを受信できるようしなければならない。所管である総務省は対策本部を設置して、今後の課題と対応に取り組むことになった。

対策本部の看板を掲げる増田総務大臣、二ノ湯政務官

自治大学校108期研修生卒業式

地方分権が進み地方に権限が委譲され、地方公共団体の役割は益々大きくなってきており、優秀な公務員が求められる。自治大学校では地方自治体の中核を担う公務員に高度な研修の機会を与え、自治体職員の能力の向上に努めている。

参議院外交調査会、台湾視察

参議院外交調査会(会長：矢野哲朗参議院議員)の有志6名が、去る8月20日から23日までの4日間の日程で、台湾を訪問した。主な目的は、日本が初めて新幹線技術を海外に輸出し、今年1月に開通した台湾新幹線の現地視察であった。滞在中は、台湾の呂秀蓮副総統や蔡交通大臣など、多くの要人を次々と表敬訪問し、今後の日台関係や台湾を巡る国際情勢などについて活発な意見交換をした。一行は各方面で暖かい歓迎を受けた。

総統府にて呂(ろ)秀蓮副総統に歓迎を受ける参議院議員

台湾新幹線視察 台北―高雄間を最速90分で結ぶ

台湾視察2日目、台湾南部にある左営駅(高雄市)から北部の台北駅(台北市)まで、今年1月に開通したばかりの台湾高速鉄道(台湾新幹線)に乗車した。この台湾新幹線は、台湾の西部を南北に走り、今までは在来線で4時間近くかかっていた台北―高雄間(345キロ)を最高速度300キロで走り、90分で結ぶ。当初は、2005年の開通を目指していたが、安全上の理由で何度も延期され、待ちに待った開通となった。一行は、12両編成のうち、ビジネス車両(日本のグリーン車)に乗車した。社内は綺麗で乗り心地は、日本の新幹線と変わりなく、むしろ揺れは少ない方であった。台湾高速鉄道の殷琪(いんき)社長によると、台湾は寒暖の差が少ないために、レールの継ぎ目と継ぎ目の間隔が短く、その分振動が少ないとのことであった。乗客の数は意外に少なく、経営がうまく行くのかという印象を持った。しかし、台湾高速鉄道会社は、2010年に開業する4駅を含め、台北―高雄間の12駅周辺の開発権を持っているため、その地域に合った都市開発を推進し、観光や、通勤にも使える新幹線を目指し、旅客数の一層の増加に努めたいと社長は意気込んでいた。

台湾高速鉄道・林(りん)副社長と台湾新幹線の左営駅で

二ノ湯議員、久しぶりの親孝行

二ノ湯議員の母親は日本統治時代、台湾の台北で大正８年に生まれた。６歳で日本に帰ってからその後、一度も台湾を訪れる機会がなかった。元気なうちに行きたいという母親の願望を叶えるために、８月中旬二ノ湯議員は母親、姉を伴い台湾を訪問した。80年前の台北と現在では全く様変わりである。母親が生まれ、育った家の辺りをドライブしたが、母親には全く記憶がないようであった。それでも母親は満足そうであった。今回の旅行は成田発であったために、台湾行きに先立ち二ノ湯議員と母親は国会議事堂を見学し、姉と３人で国会議事堂正面で記念写真を撮った。母親は昭和43年、二ノ湯議員の大学卒業式に出席して以来、初めての上京であった。政治の世界に飛び込んで毎日忙しい日々を送り母親とゆっくりと話をする機会もなかった二ノ湯議員にとっては、久しぶりの親孝行が出来た台湾旅行であった。

自民党 政経文化懇談会のお知らせ

恒例となりました自民党の政経文化懇談会が開催されます。厳しい経済状況の中で、皆様方にお願いを申し上げるのは大変恐縮ですが、何卒ご理解いただきご協力下さいますよう心よりお願い申し上げます。

◆日時　平成19年11月24日㈯　13時から
　■講演会(講師：政治評論家　三宅久之氏)
　■懇親会
◆場所　国立京都国際会館(京都市左京区宝ケ池)
◆会費　一口　３万円

☆お申し込みは二ノ湯さとし事務所まで
TEL075-315-2228　FAX075-315-2310

歩くことは健康の基本

第172回 みんなで歩こう湯歩会(参加者41名)

京都大学時計台の前で

第173回 みんなで歩こう湯歩会

・日　　時：**9月30日(日)**（小雨決行）
・出発時刻：午前９時(時間厳守)
・集合場所：阪急長岡天神駅西口
・コース：八条ケ池→長岡天神宮→西山公園体育館→長法寺→光明寺→阪急西向日駅解散
● 今回は、長岡天神、乙訓方面を歩きます。さわやかな季節の歩こう会です。多くのご参加をお待ちしております。

(当日)090-1956-7460

身辺雑記

一、大阪で行われていた世界陸上選手権大会が終わった。開催地日本は女子マラソンで土佐礼子選手の三位入賞が最高の成績で、たった一つのメダルしか獲得できなかった。日本陸上の地盤沈下と日本人の体力の低下を思い知らされた世界選手権であった。

一、すったもんだの末、朝青龍の帰国が実現した。その間、相撲協会の右往左往振り、優柔油断さが批判された。テレビは連日この問題を放映しているが、少し騒ぎすぎる感がしないでもない。日本の伝統文化を重視する相撲の世界であっても、多くの外国人が入門すれば、文化摩擦が起こるのも当然である。

一、見てきたような嘘を言いというが、週刊誌の広告の見出しを見ているとまあよくこんなに色々なことを取材しているなと感心する。最近は先の参議院選挙で当選した人がやり玉に挙がっている。事実か嘘か分からないが、国民に政治家とはその程度のものかという印象を与えている。

一、イチロー選手が７年連続200本安打を記録した。本塁打が少なく、派手さがないので松井選手のようにマスコミは取り上げないが、考えてみればたいした記録である。こつこつと手堅く地道に積み上げていく姿勢は人生の歩みの良い見本でもある。

一、自民党の大敗で、多くの秘書が失業した。以前ならば同僚の議員がその受け皿となって秘書を雇用したが、あぶれている秘書が多い。小さい子供を抱えている人は、たちまち生活が出来ず、背に腹は替えられぬと民主党の秘書に転進している。

一、少年野球大会で始球式を頼まれた。ホームとマウンドの間など、たいしたことはないだろうと思って投げたら、キャッチャーに届かなかった。知らない間に肩の筋肉が劣えているのだ。年はとりたくない。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい
年間購読料　1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228